



## 100万人のてんかんには 100万通りの治療目標

日本にはてんかんのある人がおよそ100万人いるとされます。当然、その100万人の症状や程度は一人一人で異なり、治療の目標もおそらく異なるでしょう。さらに年齢や性別、生活環境によってもその目指すところは大きく左右されるかもしれません。例えば、てんかんの治療薬をたくさん服用すればきちんと発作は抑えられるが、強い副作用症状（多くは眠気やふらつきなど）で日中起きるのもやっという場合は、必ずしも発作ゼロを目指さないこともあり得ます（すなわち発作が少々出現しても副作用のない生活のしやすさを優先するという場合もあり得ます）。どのような治療をうけるにせよ、要はその効果や副作用や障害とのバランスがとても重要ということです。かかりつけの医療機関を受診したときは、発作のことだけでなく、生活や将来のことも含めてしっかりとお話をしてください。

